

「新しい生活様式」に対応した

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

事業所名: 米浜交通

業 種: 運送業

代表者名: 米濱 保男

1. 一定の距離(ソーシャルディスタンス)の確保方法

- ・ 運転席と後部座席の間に防護スクリーンを設置すること等により、乗客との飛沫感染を防止するよう努める。

2. 従業員の健康管理(保健衛生対策)の徹底

- ・ 可能な限り朝夕2回の体温測定を行った上で、発熱やせき等の症状がある場合は自宅待機を行う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限されている、または入国後の観察期間を必要とされている国・地域などへの渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合においても、自宅待機を行う。
- ・ 休日はしっかりと睡眠を取り、休養に努める。
- ・ 「新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』」を実践する一方で、熱中症予防行動(エアコンの利用、屋外で他人と十分な距離を確保できる場合には適宜マスクをはずす、こまめな水分補給等)にもこれまで以上に心掛ける。
- ・ 運行中はマスクの着用を徹底する。
- ・ 運賃・荷物の受け渡し等において、手袋の着用に努めるとともに、相手先との直接接触を極力減らすよう努める。
- ・ 運行中に発熱や体調不良を認めた時は、運行を中止する。

3. 3密(密集、密接、密閉)の回避

- ・ 定員上、後部座席に着席可能である場合には、乗客に対して可能な限り後部座席に乗車するよう理解を求めるよう取り組む。

4. 換気の徹底

- ・ 乗客の意向を確認した上で、エアコンによる外気導入や窓開け等の車内換気を行う。
- ・ 乗客の降車後に、窓を開けて換気する等の車内換気に努める。

5. お客様への咳エチケット・手洗いのお願い

- ・ 乗客に対して、感染拡大防止についての理解と協力を求める。
- ・ 乗客の荷物をトランクに預かる際に、個人タクシー事業者が荷物に触れること、若しくは乗客が直接収納又は取り出すことについて理解と協力を求める。

6. 消毒・洗浄の徹底

- ・車両点検用工具などについては、洗浄・消毒を行う。
- ・車内の座席、窓、ドアノブ、手すり、防護スクリーン、タブレットなど、乗客が頻繁に触れる箇所については、こまめに消毒を行う。
- ・座席に掛ける布については、定期的に洗濯する。
- ・設備や器具の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム溶液やエタノールなど、当該設備・器具に最適な消毒液を用いる。
- ・ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液などがついたゴミがある場合はビニール袋に密閉する。
- ・マスクや手袋を着用し、作業後に手洗いを徹底する。

7. 独自の感染予防対策



↑ 仕切りシートに貼付